

2013年3月 0様（金沢大学医学部4年）

まず気づいた事は、業務、というか必要なスキルが多岐にわたるという事です。医学そのものも広い医学、いろいろな科を把握している必要があると思うのですが、それ以上にノンテクニカルなスキルが多岐にわたるな、というのが第一印象です。

例えば時間内に診療を終わらせるような計画性、話をきいてあげるコミュニケーション能力、患者さんが何を欲しているのか、言いたい事全て言えているのか察する能力など、人間的なスキルが多く影響すると実感しました。そしてそういった部分も学習、経験していく必要があるなと再確認できました。

お忙しいところ、御無理をいって時間を作っていただき、ありがとうございました。非常にためになりました。

人口動態的に確実にニーズは増していくと思いますが、それに対応できるだけの容量を保つために ①インフラの整備 ②人材の確保、教育 の2つが必要になってくると思います。

- ① に関しては、プラタナスさんの音声ディクテーションを文字化して事務処理にかかる時間を削減するというような、どんどんシステムティックな方向に進むと思います。
- ② に関しては難しいですが、在宅医療が世の中に広く広まり、新卒・既卒問わずに認知されるのがまずは必要だと思います。そのために先行して①が必要になってくるのではないのでしょうか。